SONG OF THE EARTH 311

-FUKUSHIMA 2022-

2022.3.10 THU 11 FRI 12 SAT

Jヴィレッジ / 東日本大震災・原子力災害伝承館

https://songoftheearth.info

SONG of the EARTH 311 Festival

「悲しみから喜びへ」を実感する１日を。
被災地で活動を続けてきたアーティストたちの熱いライブと、福島県をはじめ、新潟県・熊本県といった LFN が活動を行う地域のフード・ワークショップ・アクティビティ等のマーケットを楽しめます。

2022 年 3 月 11 日（金）
@Jヴィレッジ

主催：一般社団法人 LOVE FOR NIPPON

CANDLE 11th

SONG OF THE EARTH 311

毎月 11 日の月命日に灯してきている福島各地のみなさんの夢やメッセージ。当日参加されるみなさんの想いもあわせてキャンドルを灯します。追悼の想いとともにみんなの願いをサーチライトにのせて天高く飛ばします。

2022 年 3 月 10 日（木）・11 日（金）
@ 東日本大震災・原子力災害 伝承館
2022 年 3 月 11 日（金）
@Jヴィレッジ

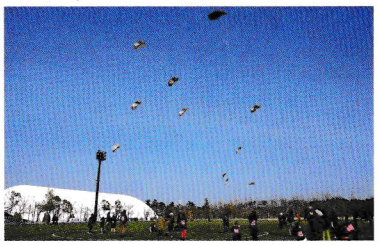
共催：一般社団法人 LOVE FOR NIPPON ／福島県相双地方振興局／公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 東日本大震災・原子力災害伝承館／一般社団法人日本キャンドル協会

3.11 夢の大凧あげ

SONG OF THE EARTH 311

広野町特産の「日本最北のバナナ」の茎を原料にした和紙で作った大凧に描かれた、福島各地の子どもたちの夢や希望が 311 黙祷の時間の後に大空に舞います。

2022 年 3 月 11 日（金）
@Jヴィレッジ



共催：一般社団法人 LOVE FOR NIPPON ／福島県相双地方振興局

「悲しみから喜びへ」

悲しい出来事を楽しみや喜びのなかに包み込み、未来へ伝承していくことができたらと願っています。

かつて、たくさんのボランティアが東北に訪れていました。

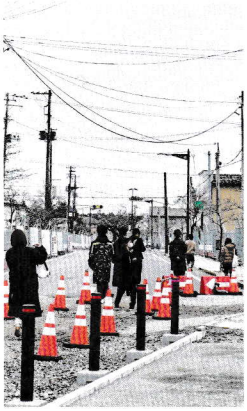
一年に一度みんなが帰ってこれる場所。

そして、今の福島とあらためて繋がれる場所にこのフェスティバルがなれたらと願っています。

SOTEツアー ふたば、ふたたび

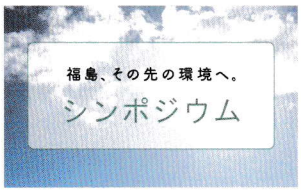
ふたばの今に触れるツアー。
震災から 12 年目を迎え、歩み続けているふたばの「いま」を体感するツアーです。

日時：2022 年 3 月 12 日（土）
主催：「福島、その先の環境へ。」シンポジウム実行委員会



SOTE SYMPOSIUM

SONG OF THE EARTH 311



「振り返るための 311 ではなく、ここから始める 311 にするために」。
10 年の節目から環境省と取り組みはじめたシンポジウム。
被災地支援団体や行政、企業の方々と福島の学生たちが集まり、
これからの「まちづくり」についてを話し合います。

日時：2022 年 3 月 12 日（土）
会場：Jヴィレッジ
主催：「福島、その先の環境へ。」シンポジウム実行委員会

YAHOO! JAPAN　Coleman　みんな電力　kiu　SARAYA　カメヤマローソク　BIGWING　JTB　華密恋 KAMITSUREN　KEEN

[SOTE2022 ALL 後援]
福島民報社 ／ 福島民友新聞社 ／ 福島テレビ ／ 福島中央テレビ ／ 福島放送 テレビユー福島 ／ ふくしま FM
[CANDLE11th・3.11 夢の大凧あげ 後援]
相馬市 ／ 南相馬市 ／ 広野町 ／ 楢葉町 ／ 富岡町 ／ 川内村 ／ 大熊町 ／ 双葉町 浪江町 ／ 葛尾村 ／ 新地町 ／ 飯舘村

LOVE FOR NIPPON

【SPECIAL SUPPORT】FUJI ROCK FESTIVAL / 朝霧 JAM / RISING SUN ROCK FESTIVAL / GREENROOM FESTIVAL / New Acoustic Camp / ACO CHiLL CAMP / SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER

CANDLE 11th

SONG OF THE EARTH 3/11

LOVE FOR NIPPONは
毎月11日の月命日に、それぞれの「今の想い」を書いてもらい
福島県各地で灯しています。
「震災」や「原発問題」のこと、
福島の「今」を生きるみなさんの声を
世界中に届けたいと思い、活動を続けています。
ぜひ、みなさんそれぞれの「想い」を言葉にして書いてみてください。

メッセージは黄色やピンク以外の色の**油性マジック**で書いてください

当日は、キャンドルの入ったガラス瓶に貼って、みなさんのメッセージを灯します

CANDLE JUNE

LOVE
FOR
NIPPON

キリトリ

CANDLE 11th

SONG OF THE EARTH 3/11

LOVE FOR NIPPONは
毎月11日の月命日に、それぞれの「今の想い」を書いてもらい
福島県各地で灯しています。
「震災」や「原発問題」のこと、
福島の「今」を生きるみなさんの声を
世界中に届けたいと思い、活動を続けています。
ぜひ、みなさんそれぞれの「想い」を言葉にして書いてみてください。

メッセージは黄色やピンク以外の色の**油性マジック**で書いてください

当日は、キャンドルの入ったガラス瓶に貼って、みなさんのメッセージを灯します。

CANDLE JUNE

LOVE
FOR
NIPPON

キリトリ

3 月 11 日に一緒に灯してもらえませんか

福島の人たちは毎日を取り戻す日々が続いています
廃炉の問題や風評被害
この問題を本当に福島の人たちのことだけにしておいてよいでしょうか

原発に対しての賛否ではなく
原発事故から起きた現象、影響をしっかり学びこれからの未来に生かすこと
それが唯一、亡くなった方々や
風評で苦しんでいる方々へできることではないかと思います

世界では 2001 年 911 世界同時多発テロ
2021 年世界中でコロナウィルスの流行とありますが
日本では 2011 年に 311 の震災、津波、原発事故がありました

本来であれば発災時からの 10 年で
しっかりとした学びができていれば
現在も続くコロナウィルスに対しても
日本がリードできていたことがあるかもしれません

原発事故の本当の怖さは
原発のことを話題にして盛り上がることができないということです
福島では復興格差が生まれています
なおさらそれぞれが口に出すことができずらくなります

私たちが通い続けること
そしてこのようにみなさんにお願いし続けることの意味は
これまで繋がっていなかった人を一人でも多く
福島につなげることが一番の支援だと考えているからです

「10 年間ずっと福島のことはもやもやと考えていました。」
「初めて福島に来ました。あの時のこと、そして今までのことなど聞かせてもらえませんか？」

わたしたちが福島に来ることは当たり前になっています

私たちにはできないことがはじめてくる人にはできるんです

心に留めているものを県外の人が聞いてあげること
そして自分ごとに置き換えてみること

そうすることで
福島だけの問題ではなく
これからの日本の、そして世界の問題であることに気がつくと思います

福島の人たちだけの問題とせずに
一緒に考えそして
解決することが
これからの日本のためにもなり、そして一人一人のためにも
未来の子供達のためにもなると信じています

みなさんそれぞれのあかりを３月 11 日に灯してください

どうぞ
よろしくおねがいいたします

CANDLE JUNE